

市長定例記者会見資料



令和6年11月25日	
所 属	政策秘書担当
所属長	山崎 健太
電 話	06-6489-6474

市長公約の取組状況を公表します～松本市政2年目の取組～

1 趣旨

令和6年12月で松本市長就任から2年が経過します。

市政の公約として掲げている5つの柱と30の重点項目について2年目の取組状況を公表します。

2 取組状況

市長公約の5つの柱に係る主な取組状況は、次のとおりです。

30の重点項目に係る取組状況については、別紙「松本市長公約整理表」を参照ください。

5つの柱	2年目（令和6年度）の主な取組状況
1. 「子育てのまち」、「学びたいまち」あまがさき	➢ 「子ども・子育てアクションプラン」に掲げる各種施策の推進 ➢ 阪神間他都市と比較して高額となっている保育料区分の利用者負担額の引下げ ➢ 児童ホームの開所時間を19時まで延長 ➢ 産後ケアの通所型・宿泊型の導入及び訪問型の対象要件緩和 ➢ 全市立中・高等学校へのデジタル採点システムの導入 💡 ファミリー世帯の転出超過数は大幅に改善！（R4：△317世帯→R5：△180世帯）
2. 誰もが暮らしやすいまち	➢ 多文化共生社会の実現に向けた「多文化共生施策アクションプラン」の策定 ➢ 家計管理に課題を抱える生活困窮者に対する家計改善支援、住居を失うおそれのある不安定居住者に対する入居支援相談など重層的支援の一層の推進
3. 住環境整備、まちの魅力とイメージの向上	➢ 鉄道駅周辺を中心としたエリアブランディングの推進 ➢ 良好な住環境整備に向けた「住宅施策パッケージ」プランの策定及び推進 ➢ 子育て住宅促進区域（指定区域）内における戸建住宅の取得等費用に係る補助の創設 ➢ 路上喫煙禁止区域での受動喫煙対策等の強化 ➢ 「働く」も「子育て」も応援するまち『あまがさき』の魅力を発信するPRサイトの作成 💡 「まちのイメージが良くなった」と感じている市民の割合は過去最高を更新！（R4：60.5%→R5：63.7%）
4. 地域経済の活性化と脱炭素社会に向けた取組	➢ 大規模な工場等の跡地や企業の遊休地等の有効活用に向け企業立地の基本的な考え方を定める「企業立地方針」の策定に向けた検討 ➢ ものづくり企業の新規創業や既存企業の新事業・新分野への進出などを総合的に支援する拠点「オープンイノベーションセンター」の設置・運営 ➢ 職業能力開発支援の取組強化や女性へのリスクリング支援の強化（L字カーブの解消）
5. 市民とともに市民に寄り添う市役所	➢ 行政手続のオンライン化など市民サービス向上を含めた「共創DXプラン」の策定及び推進 ➢ 児童ホーム入退室管理等システムの導入及び児童ホーム・子どもクラブのWi-Fi整備

3 市長総評

市長就任以降、施策評価等を通じて、各局の施策の現状把握とその効果検証等を行うとともに、公約に掲げる5つの柱と30の重点項目を念頭に、近年、大幅にイメージが向上している“あまがさき”を次のステージに進めていくことを意識しながら、各種政策の推進を図ってきました。

令和5年度は市政の更なる推進と公約の実現に向けて、「あまがさき子ども・子育てアクションプラン」、「子育て世帯の定住・転入に向けた良好な住環境形成のための住宅施策パッケージ」、「あまがさき共創DXプラン」といった、今後、重点的に取り組むべき政策を取りまとめました。

令和6年度には、こうした様々な政策の方向性を具体的な施策や事業として「実行・実現」していくフェーズと位置付け、保育料の引下げや児童ホームの開所時間の延長、次世代を担う子育て世帯に選んでもらえるまちとするための住宅取得支援など、『働く』も『子育て』も応援するまち」として、子育て世帯に寄り添った施策を実施してきました。また、DXの推進による市民サービス向上や行政の内部事務の効率化等にも取り組んでいます。

加えて、近年の国の入国管理政策により、本市に居住する外国人労働者は急激に増加しています。今後、その家族の帯同等も増えていくことが予想される中で、多様な文化的背景を持つ者同士がお互いの価値を認め合い、地域で共生できる社会を目指す観点から、今般、多文化共生施策についての「アクションプラン」も取りまとめたところです。

引き続き、これらのパッケージ・プランに掲げる施策の推進を図り、一人でも多くの方に「住みたい」、「住んで良かった」、「住み続けたい」と思ってもらえるよう、様々な方との対話も重ねながら、まちづくりを進めていくことが肝要であると認識しています。

“あまがさき”の持つ可能性を最大限に引き出し、更なる成長へとつなげられるよう、私自身が先頭に立ち、全庁一丸となって、これらの取組を進めてまいります。

以 上

市長公約の取組状況の公表について（就任2年目）

ポイント

- 公約に掲げる「**5つの柱**」と「**30の重点項目**」を強力に推進していく観点から、とりわけ、**市役所（組織）全体で取り組むべき分野**については、各分野に関する施策のパッケージ・プランを策定することで、一体的に政策を進めています。
- これら施策パッケージ・プランを毎年度更新するとともに、必要に応じて充実等を図ることで、**公約に掲げる項目を確実に実施**していきます。

市長公約の5つの柱

1. 「子育てのまち」、「学びたいまち」あまがさき
2. 誰もが暮らしやすいまち
3. 住環境整備、まちの魅力とイメージの向上
4. 地域経済の活性化と脱炭素社会に向けた取組
5. 市民とともに市民に寄り添う市役所

施策パッケージ・プラン

- ① あまがさき子ども・子育てアクションプラン
- ② **多文化共生施策アクションプラン**
- ③ 良好な住環境形成のための住宅施策パッケージ
- ④ 「（仮称）尼崎市企業立地方針」に基づく施策の展開
- ⑤ あまがさき共創DXプラン

新

【参考】R7向け重点項目（予算編成方針）

- ① 子ども・子育てに係る支援と環境
- ② 多文化共生社会の実現に向けた取組
- ③ 良好な住環境形成とエリアブランディングの推進
- ④ 時代の変化に対応した産業イノベーションの推進
- ⑤ 市民サービスの向上と業務効率化に向けた共創DXの推進

表の見方

松本市長公約整理表 ～“あまがさき”を次のステージに！～

公約に掲げた5つの柱を記載しています。

市政の推進と公約実現の観点から策定した施策パッケージ・プランに対応する項目には「★」を記載しています。

(参考)

「子ども」:あまがさき子ども・子育てアクションプラン(令和5年11月策定)

「住宅」:子育て世帯の定住・転入に向けた良好な住環境形成のための住宅施策パッケージ(令和6年1月策定)

「DX」:あまがさき共創DXプラン(令和5年12月策定)

1 「子育てのまち」、「学びたいまち」あまがさき

No.	公約内容	主な取組状況	施策パッケージ・プラン			車座
		2年目(R6)まで	子ども	住宅	DX	
1	18歳まで子どもの医療費の無償化推進、待機児童対策など、子育て支援のさらなる充実に向けた取組を進めます。	◎子ども・子育て政策の基本的な方向性を示す「子ども・子育てアクションプラン」の策定及び同プランに掲げる各種施策の推進	★			★
		◎就学前の子ども医療費の完全無償化(所得制限なし)及び更なる助成拡充の検討	★			★
		◎保育士の業務負担軽減に向けた保育支援者及び保育補助者の配置に係る補助の創設	★			
		○阪神間他都市と比較して高額となってる保育料区分の利用者負担額の引下げ	★			★
		○児童ホームの開庁時間を19時まで延長	★			★
		○児童ホーム・フリースペースの導入及び児童ホーム、子どもクラブのWi-Fi整備	★			

公約に掲げた30の重点項目を記載しています。

市長就任2年目(R6)までの主な取組を記載しています。

「◎」:就任1年目に実施し、以降も段階的に拡充し、取り組んでいる項目

「○」:就任2年目に実施した項目

「●」:就任1年目に実施した項目

市民との対話を行う「車座集会」において、市の取組に対し、市民からも実施や充実などのご意見をいただいた項目に「★」を記載しています。

松本市長公約整理表 ～“あまがさき”を次のステージに！～

1 「子育てのまち」、「学びたいまち」あまがさき

No.	公約内容	主な取組状況	施策パッケージ・プラン			車座
		2年目（R6）まで	子ども	住宅	DX	
1	18歳まで子どもの医療費の無償化推進、待機児童対策など、子育て支援のさらなる充実に向けた取組を進めます。	◎子ども・子育て政策の基本的な方向性を示す「子ども・子育てアクションプラン」の策定及び同プランに掲げる各種施策の推進	★			★
		◎就学前の子ども医療費の完全無償化（所得制限なし）及び更なる助成拡充の検討	★			★
		◎保育士の業務負担軽減に向けた保育支援者及び保育補助者の配置に係る補助の創設	★			
		○阪神間他都市と比較して高額となっている保育料区分の利用者負担額の引下げ	★			★
		○児童ホームの開所時間を19時まで延長	★			★
		○児童ホーム入退室管理等システムの導入及び児童ホーム・こどもクラブのWi-Fi整備	★		★	
2	子どもの育ち支援センター「いくしあ」を中心に各機関の連携を強め、出産から、就学前、就学後の相談・支援の切れ目をなくし充実させます。	◎妊産婦の健康診査等費用の助成 （産婦健康診査費用助成・低所得の妊婦に対する初回産科受診費用助成）	★			
		○産後ケアの通所型・宿泊型の導入及び訪問型の対象要件の緩和	★			
		○低所得世帯に対する新生児聴覚検査費用の助成	★			
		○母子保健と児童福祉を一体的に対応する機能を南北保健福祉センター及び子どもの育ち支援センター（いくしあ）に設置	★			
		○家庭や学校に居場所がない学齢期以降の子どもへの居場所の提供	★			
		○地域の里親を活用したショートステイ事業の実施	★			
		●出産子育て応援給付金関係事業による経済的支援・伴走型支援				
		●子育て家庭へのホームヘルパーの派遣				

1 「子育てのまち」、「学びたいまち」あまがさき

No.	公約内容	主な取組状況	施策パッケージ・プラン			車座
		2年目（R6）まで	子ども	住宅	DX	
3	子どもを真ん中にした支援を行うため、一時保護所を含む児童相談所を設置し、児童虐待などへの対策を強化します。	●児童相談所の設置に向けた専門職の確保と職員派遣による人材育成	★			
		●児童相談所業務に対応するシステム導入に向けた検討・準備	★			
		●ICTを活用した相談支援システム導入に向けた検討				
4	学力向上に向けた取組を強化し、学力水準を全国平均以上にします。	○全市立小学校・特別支援学校における電子図書館を活用した読書活動の推進	★			
		○全市立中・高等学校へのデジタル採点システムの導入 （採点結果の分析機能等を活用し生徒の学習上のつまづきを解消）	★		★	
		○STEAM教育（教科横断的な学び）が可能なプログラミング教材をモデル校（中学校）に導入				
		○探究的な学びを実践する未来の学び校を指定				
		●外国語を学ぶ動機付けとするオンライン英会話事業の実施				
		●尼崎高等学校において、グローバル社会で活躍するために必要な能力の育成を目的とした国際総合類型の充実				

1 「子育てのまち」、「学びたいまち」あまがさき

No.	公約内容	主な取組状況	施策パッケージ・プラン			車座
		2年目（R6）まで	子ども	住宅	DX	
5	スクールロイヤーの配置など、いじめ問題への対応を強化します。	○いじめ・不登校・学校事故など様々な問題について助言・アドバイスをするスクールロイヤーの配置（2名）	★			
		○子どもの思いに寄り添い福祉的援助活動を行うスクールソーシャルワーカーの体制強化（R5:10名→R6:13名）	★			
6	不登校児童生徒の学習保障に向けた環境整備をさらに進めます。	◎学びの多様化学校の設置に向けた検討（先進事例の視察、準備組織の新設等）	★			★
		○教室での学びに「しんどさ」を抱える児童生徒の居場所として校内サポートルーム・エリアを設置（小学校6校、中学校8校）	★			★
		○不登校児童生徒が利用するフリースクール等の利用料に係る補助の創設	★			
		○子どもの思いに寄り添い福祉的援助活動を行うスクールソーシャルワーカーの体制強化（R5:10名→R6:13名）【再掲】	★			
		●「不登校児童生徒支援シート」の作成、活用など不登校児童生徒への対策支援				
7	障害児や医療的ケア児の学習を保障するとともに、共生社会の実現に向けたインクルーシブな教育を推進します。	○要配慮児童生徒が在籍又は進学予定の学校へのエレベーターの設置促進（中学校2校への設置に係る設計）	★			
		●公立保育所での医療的ケア児の受入れ体制の整備	★			
		●インクルーシブな教育の推進に向けた生活介助員・特別支援教育支援員の増員（生活介助員 R4:66名→R5:77名、特別支援教育支援員 R4:48名→R5:58名）				

1 「子育てのまち」、「学びたいまち」あまがさき

No.	公約内容	主な取組状況	施策パッケージ・プラン			車座
		2年目（R6）まで	子ども	住宅	DX	
8	学校の教職員の働き方改革を進め、子どもにも教職員にも魅力ある学校づくりを進めます。	◎中学校におけるクラブ活動の地域移行及び部活動指導員の増員 （R4:5名→R5:10名→R6:13名）				
		○いじめ・不登校・学校事故など様々な問題について助言・アドバイスをするスクール ロイヤーの配置（2名）【再掲】	★			
		○全市立中・高等学校へのデジタル採点システムの導入【再掲】 （教職員の業務の効率化及び負担軽減）	★		★	
9	コミュニティ・スクールを全市展開し、地域に開かれた学校の実現を目指します。	◎コミュニティ・スクールの全市展開に向けた計画的な立上げ支援 （R6.10月時点 小学校:39校/41校、中学校:11校/17校、高等学校:1校/3校、 特別支援学校:0校/1校）				
10	ユース交流センターを拠点とした青少年の社会参画を促進します。	●ユースカウンスル事業など若者の主体性を尊重した活動支援				
		●ユースワーカーの養成やユースワークの視点を取り入れた居場所づくり事業・ サテライト事業等の実施				
		●子ども・若者応援補助金を活用した活動支援、同補助金の審査に若者の意見を反映 できる体制整備				

2 誰もが暮らしやすいまち

No.	公約内容	主な取組状況	施策パッケージ・プラン			車座
		2年目（R6）まで	子ども	住宅	DX	
11	誰もが住みやすい、人権が息づく地域共生社会を目指します。	○多文化共生社会の実現に向けた環境づくりのために早期に取り組むべき施策をまとめた「多文化共生施策アクションプラン」の策定				★
		○外国にルーツを持つ児童の生活に必要な日本語習得を支援するため、日本語ボランティアを小学校の放課後に派遣	★			★
		○パートナーシップ宣誓制度の拡充に向けた検討				
		○市民の気持ちに寄り添ったペット遺体の引取り				
		●人権施策の適切な推進に向けた国勢調査データを活用した調査分析				
		●外国人総合相談窓口の拡充（ネパール語の相談員の配置）				
		●性の多様性の理解促進に向けた市民及び事業者のALLY（アライ）養成				
		●インターネット上の人権問題等に関する弁護士による法律相談				
12	何歳になっても、誰もが健康で、自分らしく生きがいをもって暮らせる仕組みづくりを進めます。	◎健康寿命延伸に向けた「第4次地域いきいき健康プランあまがさき」の策定及び推進				
		◎休日夜間急病診療所の再整備				
		●生活習慣病予防等のための高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の推進（糖尿病治療中断者に対する訪問による受診勧奨等の実施）				
		●高齢者の社会参加につなげる高齢者生きがい就労事業の推進				★
		●認知症サポーター養成講座受講者の増加に向けた取組の推進（オンラインによる養成講座の実施など）				★
		●いきいき百歳体操等の住民主体の介護予防活動の一層の推進（スマートフォン講座やフレイル体操動画の紹介など）				★

2 誰もが暮らしやすいまち

No.	公約内容	主な取組状況	施策パッケージ・プラン			車座
		2年目（R6）まで	子ども	住宅	DX	
13	高齢者等への見守り活動や重層的支援を推進するとともに、地域防災力向上に取り組み、安全安心を高めます。	○税金や公共料金等の滞納、多重債務などの家計管理に課題を抱える生活困窮者に対する家計改善支援の実施				
		○住居を失うおそれのある不安定居住者に対する入居支援相談、居住安定の継続支援等の実施				★
		○各支援機関での情報共有を効率的に進めるための重層的支援システムの導入				
		●見守り活動未実施地区での見守り活動の立上げに向けた取組の推進				
		●地域課題に取り組む地域団体と福祉事業者・高校・大学等の多様な主体とのマッチング等の推進				
		●マイ避難カード作成に係る動画の活用など効果的な周知啓発（災害ごとの避難のタイミングや避難先、避難方法等に重点を置いた啓発）				
14	障害のある人の地域生活を支えるための取組を推進します。	●災害リスクが高いと考えられる要支援者に対する意向調査及び避難支援等関係者と連携した個別避難計画の作成				★
		○児童発達支援センター「たじかの園」の体制拡充（小児科医や看護師など専門職を配置し、園診療所を2診体制に拡充）				
		●重度化・高齢化に対応した施設のバリアフリー改修等費用に係る補助の創設				★
		●障害児療育等支援事業の支援体制の集約と充実				
		●聴覚障害者等の社会参加の促進に向けた意思疎通支援事業の拡充				
15	アスベスト被害者への支援、被害の根絶に継続して取り組みます。	●在宅心身障害者（児）等のニーズを踏まえた日常生活用具の給付品目等の整理				
		◎石綿健康被害救済制度の充実等に係る国・県への要望				
		●石綿ばく露リスクの調査に係る胸部CT検査費用の助成				

3 住環境整備、まちの魅力とイメージの向上

No.	公約内容	主な取組状況	施策パッケージ・プラン			車座
		2年目（R6）まで	子ども	住宅	DX	
16	駅前プロジェクト、質の高い住宅供給の促進、空き家対策など、良好な住環境形成に向けた取組を進めます。	◎（阪神尼崎駅周辺）駅周辺の賑わい創出、魅力向上につなげる中央公園リニューアルに向けた設計・工事				
		◎（阪神大物駅周辺）大物公園のリニューアルに向けた設計、大物駅から小田南公園への主要動線の整備及び旧尼崎紡績本社事務所への周遊ルートの整備				
		◎（阪急塚口駅）駅前広場周辺道路の歩行空間の拡幅、「はんつかパブリックハック宣言」の継続による駅前広場の利活用促進、周辺道路の改良及び駅前広場への総合案内板設置				
		◎（阪急園田駅周辺）駅前広場に係るタウンミーティングや社会実験の実施による地域ニーズを取り入れた整備計画の策定				
		◎（（仮称）武庫川周辺阪急新駅）事業着手に向けた国の支援を得るための認定手続及び駅周辺のまちづくりの考え方の公表と地域との対話の継続実施				
		◎空家等対策の一層の推進（空家等情報管理システム構築、空家等除却補助（跡地活用タイプ）・相続登記費用補助の創設、建物状況調査の助成拡大など）	★	★		
		○良好な住環境整備に向けた「住環境アドバイザーボードの設置」並びに「住宅施策パッケージ」プランの策定及び同プランに掲げる各種施策の推進	★	★		
		○子育て住宅促進区域（指定区域）内における戸建住宅の取得等費用に係る補助の創設	★	★		
		○民間事業者が良質な住宅・住宅地を供給するための仕組み構築に向けた検討	★	★		
		○市営住宅における子育て世帯の入居支援	★	★		
		○市立富松住宅跡地を活用した、子育て世帯に選ばれる質の高い住宅地の誘導	★	★		
		●ワンストップでお悩みを解決する「住まいと空き家の相談窓口」の設置				

3 住環境整備、まちの魅力とイメージの向上

No.	公約内容	主な取組状況	施策パッケージ・プラン			車座
		2年目（R6）まで	子ども	住宅	DX	
17	路上喫煙対策を強化し、受動喫煙とポイ捨てのないまちを目指すとともに、戦略的な防犯対策などを通じた「体感治安」の向上に取り組みます。	◎路上喫煙禁止区域での受動喫煙対策等の強化（市内全駅での過料徴収の導入に向けた規定の整備及び体制強化、路上喫煙禁止区域の拡大）				★
		◎旧かんなみ地域の環境改善に向けた取組の推進				
		◎尼崎市暴力団排除条例の改正及び改正条例の周知				
		●マナー向上推進担当によるたばこ、ごみ、自転車等に関するマナー向上の推進				★
		●資源物の持ち去り禁止に関する啓発・指導				
		●特殊詐欺対策として自動録音機能を有する電話機等の購入補助				
		●自転車盗難対策の継続実施				
18	情報発信、プロモーションを強化し、まちのイメージ向上に取り組みます。	●地域の安全・安心の確保に向けた町会灯電気代支援				
		○「働く」も「子育て」も応援するまち『あまがさき』の魅力をPRする子育て情報発信サイトの作成	★			
		○駅前など多くの人が利用する公共空間等にエリアの特色（うわさ）を広報するうわさプロジェクトの実施	★			
		●市報あまがさきの充実（表紙及び特集記事のデザイン等の委託や電子版の発行）				
		●まちのイメージ向上に向けたPR動画の作成・インターネット広告の実施				
		●ホームページ翻訳ソフトの導入による市政情報の多言語発信				

3 住環境整備、まちの魅力とイメージの向上

No.	公約内容	主な取組状況	施策パッケージ・プラン			車座
		2年目（R6）まで	子ども	住宅	DX	
19	各地区の生涯学習プラザを拠点として、各地域における市民発意の取組や協働を促進するとともに、地域支援機能の充実を図ります。	◎大庄エリアでの官民連携による協働型公園の実現に向けた取組（大庄西中学校跡地に係る協働型公園・コミュニティスペースの整備に向けた設計及び測量、公園のルールづくりや担い手の組織化に向けたワークショップや社会実験の実施、（仮称）大庄健康ふれあい体育館建築設計）				
		◎地域の様々な主体同士のつながりや多様な連携の創出（活動の広がりづくり、プラザの図書事業の充実、たちばなユーススペースの機能充実）				
		○市内で増加する外国人住民と共に地域コミュニティを形成するための取組（各地域での日本語教室や交流イベントの開催など）				
		●市民が利用する公共施設でのフリーWi-Fiの提供				
20	市内地域バランスを考慮した図書館機能の充実を図るとともに、歴史博物館、図書館、総合文化センターの連携を強め、歴史文化を学び育むまちづくりを進めます。	◎武庫之荘エリアのまちづくりと連動した北図書館建替の具体的な検討（北図書館と女性・勤労婦人センター「トレピエ」の貸館機能を複合化した新図書館の整備など）	★			★
		◎「大近松300年祭」「白髪一雄生誕100年記念事業」「桂米朝顕彰事業」の開催など文化資本の継承に向けた取組の推進				
		○旧尼崎紡績本社事務所の敷地整備の実施				
		○各地区生涯学習プラザ等の図書室における読書を通じた学びの機会の充実（親子向けの読み聞かせや図書関連講座の実施など）	★			
		○市立小学校の児童が校外学習で尼崎城と歴史博物館を見学し、尼崎市の歴史を学ぶ尼崎歴史探検（AMATAN）事業の実施				
		●文化財保存活用地域計画の策定に向けた検討				
		●歴史資料の電子化・ウェブ公開				

4 地域経済の活性化と脱炭素に向けた取組

No.	公約内容	主な取組状況	施策パッケージ・プラン			車座
		2年目（R6）まで	子ども	住宅	DX	
21	2030年までに二酸化炭素排出量を2013年比で50%削減（2050年ゼロカーボン）を達成するため、食品ロスやプラスチックごみの減量、脱炭素社会に向けた取組を推進します。	◎地域通貨を活用した省エネ行動の推進や公用車を活用したEVカーシェアの推進など脱炭素社会の実現に向けた取組の推進				
		◎環境省から脱炭素先行地域に選定された阪神大物地域の「ゼロカーボンベースボールパーク」周辺の整備				
		○商業施設・商店街等への資源物回収拠点の設置に係る補助の創設				
		●イベントにおけるプラスチックごみ削減の推進				
22	新たな価値を創造する新規産業創造、事業承継支援の取組を強化するとともに、商店や尼崎産農産物のブランディングを推進するなど、商業・農業の支援にも取り組みます。	◎外部の専門家を招いた「産業政策会議」における本市の今後の産業振興施策の方向性等の検討				
		○大規模な工場等の跡地や企業の遊休地等の有効活用に向け企業立地の基本的な考え方を定める「尼崎市企業立地方針」の策定に向けた検討				
		○ものづくり企業の新規創業や既存企業の新事業・新分野への進出などを総合的に支援し、また市内産業団体との連携により一元的な伴走支援を実施する拠点「オープンイノベーションセンター」の設置・運営				★
		○尼崎市公設地方卸売市場の再整備に向けた事業者募集の開始				
		○農業体験や農業学習ができる施設及び市内産野菜「あまやさい」を通じた農業振興の拠点としての農業公園の活用				
		●市内産野菜「あまやさい」のPRなど販路拡大に向けた支援（生産者情報のPRや「あまやさい地産地消推進店」の登録など）				
		●生産者との意見交換によるブランディングの検討・実施				

4 地域経済の活性化と脱炭素に向けた取組

No.	公約内容	主な取組状況	施策パッケージ・プラン			車座
		2年目（R6）まで	子ども	住宅	DX	
23	電子地域通貨「あま咲きコイン」を活用し、市内消費活性化と地域内経済循環を促進します。	◎プレミアムキャンペーンの実施やATMでのチャージ機能導入など利用者増等に向けた取組の推進				
		○あま咲きコインを活用した市政アンケートの強化（回答者へのポイント付与）			★	
24	尼崎城をはじめとする地域資源を活かした観光事業を推進します。	○外国人観光客への対応・万博来場者の誘客（尼崎城における展示の充実、城址公園の改修、インバウンド対策を実施した商店街に対する補助の創設）				
		●大阪・関西万博の会場外駐車場となるフェニックス事業用地の隣接地の活用に向けた兵庫県と連携した取組の検討				
		●小田南公園周辺エリアの一体的な賑わいの創出に向け、事業者と連携した周遊に資する事業費を確保するための基金（尼崎市小田南公園周辺地域活性化基金）の設置				
25	性別や年齢にかかわらず、それぞれが持てる能力を最大限発揮できるような就労環境の実現に向けた取組を進めます。	◎「しごと塾」による支援の充実（職業能力開発支援の取組強化・女性へのリスキリング支援の強化（L字カーブの解消））				
		○中小企業におけるリスキリングの取組状況・ニーズ等の調査				
		●外国人材及び事業者双方にとって望ましい労働環境（安定雇用と生産性の向上）の整備に向けた「あまがさき外国人材雇用・育成・定着支援モデル事業所認証制度」の導入				★
		●労働環境改善に向けた解説動画の作成・配信				

5 市民とともに市民に寄り添う市役所

No.	公約内容	主な取組状況	施策パッケージ・プラン			車座
		2年目（R6）まで	子ども	住宅	DX	
26	NPOや民間企業等との積極的なチャレンジ、透明性のある連携を推進します。	●市民提案制度の認知向上のための積極的なPR活動の実施（市報への特集記事の掲載など）				
		●特定非営利活動促進事業の申請要件緩和等による更なる活用促進				
		●包括連携協定を締結している団体等との更なる連携強化（SEKISUIチャレンジャーズとの共催事業の展開など）				
27	女性幹部の積極登用などダイバーシティ（多様性を重視した）マネジメントを推進します。	●女性職員を管理職（課長級以上）へ積極的に登用（R4:12.9%→R5:14.3%→R6:17.8%）				
		●デジタル政策監として女性の外部人材の登用				
28	福祉人材の確保と育成に重点的に取り組みます。	●職員採用試験における福祉区分の年齢要件の拡大（R4:満40歳まで→R5:満45歳まで→R6:満45歳（SVIは59歳まで））及び通年募集の実施				
		●新規採用職員等対象の「福祉事業所短期インターン研修」の実施				
		●児童相談所の設置に向けた専門職の確保と職員派遣による人材育成【再掲】	★			

5 市民とともに市民に寄り添う市役所

No.	公約内容	主な取組状況	施策パッケージ・プラン			車座
		2年目（R6）まで	子ども	住宅	DX	
29	最高情報責任者（CIO）を設置し情報化やセキュリティ対策を推進、強化します。	○行政手続のオンライン化など市民サービス向上を含めた「あまがさき共創DXプラン」の策定及び同プランに掲げる各種施策の推進			★	
		○市民サービスの向上及び内部事務の効率化（広聴機会の拡大に向けたアンケート一元化・データ活用、市民・事業者向けのオンライン申請の拡大、業務プロセスの見える化等による業務改善）			★	
		○児童ホーム入退室管理等システムの導入及び児童ホーム・こどもクラブのWi-Fi整備【再掲】	★		★	
		○全市立中・高等学校へのデジタル採点システムの導入【再掲】	★		★	
		●最高情報責任者（CIO）の設置・デジタル政策監の民間からの登用				
		●情報セキュリティ監査の充実など情報セキュリティ対策の徹底				
30	外郭団体の改革と戦略的な活用の推進、市長退職金の見直し、財政規律遵守など、市政改革の歩みを止めることなく、さらに前へ進めます。	○市長退職手当の適正水準の検討のための尼崎市特別職報酬等審議会の開催				
		●適法・適正かつ効率的・効果的な行政運営の実現に向けた内部統制の推進（令和6年度尼崎市内部統制報告書の公表など）				
		●外郭団体の組織強化に向けた人事交流の実施				
		●事業のスクラップ＆ビルドや歳入確保に取り組み、当初予算における実質的な収支均衡の確保				
		●今後必要となる投資的事業の実施と、適正水準の将来負担の両立				



あまがさき子ども・子育てアクションプラン

～「働く」も「子育て」も応援するまち～

令和6年度実施項目等

令和6年11月25日

尼崎市長 松本 眞

これまでの取組の振り返り



- ・「働く」も「子育て」もしやすいまちを目指して、3年間で40のアクションに50億円を投資する「子ども・子育てアクションプラン」を令和5年度に取りまとめ、**子育て支援策の充実に取り組んできました。**
- ・令和6年11月末までの取組状況は、次のとおりです。

子育て支援策	取組状況
I 家計をサポート！（経済的負担の軽減）	7項目中4項目が達成済み・進行中
II ゆとりをサポート！（時間的負担の軽減）	10項目中5項目が達成済み・進行中
III 安心をサポート！（心理的負担の軽減）	16項目中14項目を達成済み・進行中
プラス1（積極的な情報発信・まちの魅力化）	7項目中6項目を達成済み・進行中

実施率は
7割以上

- ・令和6年11月末までに、**保育料の引き下げや児童ホーム開所時間の延長、子育て世帯向けの住宅確保支援策**などの取組を開始し、アクションプラン40項目のうち、**17項目が「達成済み」、12項目が達成に向けて今後も継続して取組を行っていく「進行中」、11項目が「令和7年度以降実施予定」となっています。**



令和 6 年度の主な実施項目

I 家計をサポート！【令和6年度実施項目】



■ 保育料の引き下げ

令和6年4月から、阪神間他都市と比較して高額となっている保育料区分の保育料を阪神間**他都市水準以下に引き下げ**

■ フリースクール等の利用者への補助

不登校によりフリースクール等を利用している児童生徒に対して、令和6年4月に遡って**利用料の一部補助を開始**

■ 低所得世帯向け初回産科受診料・新生児聴覚検査の費用助成

低所得世帯等を対象に、令和6年4月に遡って**検査費用の一部助成を開始**

保育料引下げの概要

階層	従前負担額	軽減後負担額
D10	月額93,600円	月額 76,100円
D9	月額72,000円	月額 65,500円

※所得に応じて保育料区分を設定（A,B1,B2,C1,C2,D1～D10階層）

※D8階層以下の保育料は、これまでに見直しを実施

尼崎市の市民税非課税世帯・生活保護世帯のみなさまへ

令和6年7月
スタート

新生児の
聴覚検査費用を
助成します



聴覚検査を
受けましょう

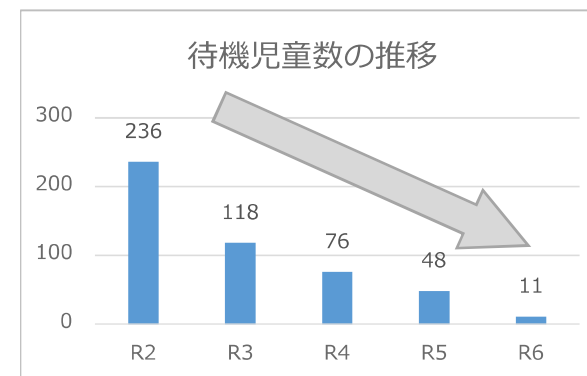
生まれつき、耳の聞こえに何らかの障害を持つ赤ちゃんは1,000人に1～2人といわれています。赤ちゃんに聞こえにくさがないかを早期に見出し、適切な療育等を受けることで、赤ちゃんのこことばやコミュニケーションの発達に大きな効果を期待することができます。また、検査で異常がなくても、耳の聞こえについて気になるときは医療機関に相談しましょう。

Ⅱ ゆとりをサポート！【令和6年度実施項目】



■ 保育所待機児童ゼロの実現 進行中

- ・ 令和6年4月1日時点の待機児童は11人となり、**前年度比で約8割減少**
- ・ 待機児童ゼロを目指し、保育補助者の配置補助（令和6年4月～）、就労希望者向けの保育業務体験（令和6年6月～）など**保育士の確保・定着化につながる施策を実施**



■ 児童ホームでの連絡アプリ導入

小学校2学期から、児童ホームにおいて児童の**入退室管理**や**施設との連絡**などを行うシステムを導入

■ 児童ホーム開所時間の19時までの延長

保護者の多様な働き方に対応するため、令和6年4月から児童ホームの開所時間を**19時まで延長**



Ⅲ 安心をサポート！【令和6年度実施項目】



■産後ケア事業の拡充

令和6年7月から、出産した女性の休息や子育て不安の解消のため、**日帰りや宿泊で休息できるサービス**を新設

■子育て家庭のショートステイ事業の拡充

令和6年7月から、育児への不安や子育ての負担を軽減するため、**地域の里親を活用したショートステイ事業**を実施

■スクールソーシャルワーカーの全中学校区への配置 進行中

- ・学校における福祉的な課題に対応するため、令和6年4月からスクールソーシャルワーカーを**3名増員（13名体制）**
- ・令和8年度には、**全市立中学校区に1名**の配置を目指し、**支援体制を更に強化**



プラス1 積極的な情報発信・まちの魅力化【令和6年度実施項目】



■ 子育て世帯に向けた住宅確保の支援 進行中

「**子育て世帯向け住宅施策パッケージ**」を令和6年1月にとりまとめ、**賃貸住宅への住替支援**（25万円助成）や、**新築・中古の戸建て住宅の取得支援**（最大200万円助成）などの取組を開始

■ 駅周辺での子育て情報等の発信 進行中

駅周辺におけるエリアブランディングにあわせて、令和6年6月から「**アマのうわさ**」を活用した情報を発信



■ 子育て情報発信サイトの作成

令和6年10月から、市内の子育てに関する情報などを積極的に発信するための**子育て情報発信サイト「AMANISM with Kids」**を公開



サイト画面イメージ



令和 7 年度以降の実施項目

令和7年度以降の実施項目



■ 子どもの医療費助成の18歳までの拡充

市内に居住する子どもの医療費助成の対象を**18歳まで拡充し、さらなる負担軽減**に取り組みます
(令和7年度に向けて調整中)



■ 児童ホーム等への昼食配送

夏休み等の学校長期休業期間中に児童ホーム等に**昼食用弁当を配送するサービスを導入し、家事負担の軽減**を図ります (令和7年度に向けて調整中)



令和7年度以降の実施項目



■ 病児保育の充実 (No.8 保育所待機児童ゼロの実現・病児保育の充実)

病児保育のさらなる充実を図るため、保育者が自宅まで訪問する**訪問型の病児保育サービスを導入**します

(令和7年度に向けて調整中)



■ 学校環境のさらなる充実 (No.27 学校環境の整備・充実)

これまでから取り組んでいる学校トイレの洋式化やエレベーターの設置に加え、体育活動や部活動等における熱中症予防や、災害時の避難所環境の向上に向けて、計画的に**学校体育館へのエアコン設置**を進めます (令和7年度に向けて調整中)



令和7年度以降の実施項目



■ 障害のある児童・生徒の受入体制の充実

(No.29 医療的ケア児や特別な支援を必要とする子どもの受入環境の充実)

あまよう特別支援学校に在籍する児童・生徒が、保護者の常時付き添いがなくとも、安心して学校生活が送れるよう

看護師による医療的ケア体制の充実を図ります

(令和7年度に向けて調整中)

また、保育所、幼稚園等での**特別な支援を必要とする子どもの受入体制の充実**を図ります (令和8年度以降に向けて調整中)



■ 子育て応援企業表彰制度の創設 (No.40 仕事と子育ての両立支援)

職場環境の改善や福利厚生の実施など、企業独自の「仕事と子育ての両立支援」を積極的に実施している**企業を表彰する制度を新たに創設**します (令和7年度に向けて調整中)





■女性の多様な働き方支援（No.40 仕事と子育ての両立支援）

女性の就労支援や再就職支援、働く女性のステップアップに向けた支援など、「働く」と「子育て」を両立しやすい支援策について検討を進めます

（令和8年度以降に向けて調整中）



■その他項目

妊婦健診の費用助成の拡充 / 多子世帯向け負担軽減策の実施 / 育児休業中の児童ホーム利用条件の緩和 / 母子手帳アプリの機能拡充 / 保育所、幼稚園、学校の諸手続きのオンライン化 / 学校諸費と給食費の徴収システムの改善 / 24時間子育て相談窓口の開設 / 里親制度の普及・啓発、里親による支援の充実 / 仕事と子育ての両立支援

子ども・子育て 40のアクション①

赤字 … 拡充項目 ○ → … 進行中



No	項 目	3つのサポート+1				実施時期	
		家計	ゆとり	安心	プラス1	R6	R7以降
1	保育料の引き下げ	●				●	
2	フリースクール等の利用者への補助	●				●	
3	子どもの医療費助成の18歳までの拡充	●					●
4	低所得世帯向け新生児聴覚検査の費用助成の実施	●				●	
5	低所得世帯向け初回産科受診料の費用助成の実施	●				●	
6	妊婦健診の費用助成の拡充	●					●
7	多子世帯向け負担軽減策の実施	●					●
8	保育所待機児童ゼロの実現・病児保育の充実 拡充		●			○ →	
9	児童ホーム開所時間の延長		●			●	
10	児童ホーム待機児童ゼロの実現		●			○ →	
11	児童ホーム等への昼食配送		●				●
12	育児休業中の児童ホーム利用条件の緩和		●				●
13	母子手帳アプリの機能拡充		●				●
14	児童ホームでの連絡アプリの導入		●			●	
15	保育所、幼稚園、学校の諸手続きのオンライン化		●				●

子ども・子育て 40のアクション②

赤字 … 拡充項目 ○ → … 進行中



No	項 目	3つのサポート+1				実施時期	
		家計	ゆとり	安心	プラス1	R6	R7以降
16	児童ホーム・こどもクラブのWi-Fi整備		●			●	
17	学校諸費と給食費の徴収システムの改善		●				●
18	産後ケア事業の拡充			●		●	
19	24時間子育て相談窓口の開設			●			●
20	スクールソーシャルワーカーの増員			●		○ →	
21	子どもに関する各種データ連携による支援の強化			●		●	
22	児童相談所の開設			●		○ →	
23	里親制度の普及・啓発、里親による支援の充実			●			●
24	母子保健と児童福祉を一体的に対応するセンターの設置			●		●	
25	困難な状況にある子どもの居場所支援の実施			●		●	
26	里親を活用した子育て家庭のショートステイ事業の実施			●		●	
27	学校環境の整備・充実（トイレ洋式化、 体育館空調整備等 ） 拡充			●		○ →	
28	学校ICT環境の整備			●		●	
29	医療的ケア児や特別な支援を必要とする子どもの受入環境の充実（保育所、あまよう特別支援学校等） 拡充			●		○ →	
30	スクールロイヤーの設置			●		●	

子ども・子育て 40のアクション③

赤字 … 拡充項目 ○ → … 進行中



No	項 目	3つのサポート+ 1				実施時期	
		家計	ゆとり	安心	プラス 1	R6	R7以降
31	不登校児童生徒の校内居場所の設置			●		○ →	
32	「学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）」の設置			●		○ →	
33	日本語ボランティアの学校派遣の試行実施			●		●	
34	子育て情報発信サイトの作成				●	●	
35	図書館機能の充実（北図書館の再整備など）				●	○ →	
36	屋内遊戯施設「Moooviあまがさき」等におけるイベントの充実				●	○ →	
37	都市公園の充実（インクルーシブ公園の整備など）				●	○ →	
38	子育て世帯に向けた住宅確保の支援				●	○ →	
39	駅周辺での子育て情報等の発信				●	●	
40	仕事と子育ての両立支援 （育休取得促進、企業表彰制度の創設、女性の多様な働き方支援） 拡充				●		●

今後に向けて



40項目達成に向けて引き続き取り組みます

- 令和7年度以降に予定している取組項目は**11項目**あり、引き続き達成に向け、関係部局と連携しながら、優先順位をもって取組を推進していきます。

外部専門家の意見を取り入れながら、更なる子育て支援策の充実を図ります

- 本市における子育て支援策の効果を客観的に分析し、**より効果的な子育て支援策を検討するため**、外部の専門家で構成する「**尼崎市子育て政策懇話会**」を設置し、**令和6年10月に第1回懇話会を開催**しました。
- 今後、この懇話会での議論も踏まえて、**現行のアクションプランの拡充も含めた、本市の子育て支援策のさらなる充実につなげていく**など、引き続き、「働く」も「子育て」もしやすいまちの実現に向けて取り組んでいきます。



子育て世帯の定住・転入に向けた 良好な住環境形成のための住宅施策パッケージ

令和 6 年 1 1 月 取組状況

尼崎市

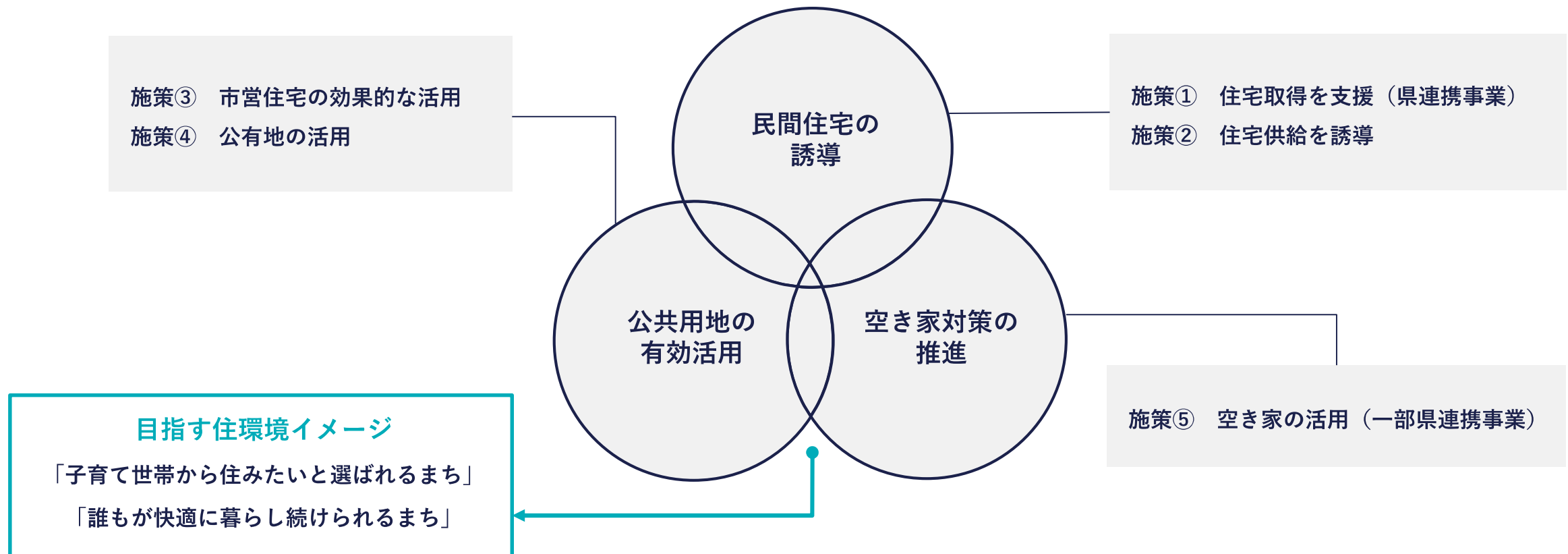
目 次

- 01. 取組の3本柱と5つの施策
- 02. 施策① 住宅取得を支援
- 03. 施策② 住宅供給を誘導
- 04. 施策③ 市営住宅の効果的な活用
- 05. 施策④ 公有地の活用
- 06. 施策⑤ 空き家の活用

取組の 3 本柱と 5 つの施策

取組の3本柱と5つの施策

目指す住環境のイメージに向けて、施策検討の3つの柱、5つの施策を実施しています



施策① 住宅取得を支援 (兵庫県との連携事業)

賃貸住宅への住み替え支援

4月から受付をスタート。県外からの住み替え支援を活用して、57世帯の子育て世帯が尼崎市に転入！

事業概要

賃貸住宅への住み替え支援

- 25万円助成／件
- 先着160世帯
- 床面積55㎡以上など
- 兵庫県との連携事業



11月時点

賃貸住宅への住み替え支援

- 住み替え支援を活用し、57世帯の子育て世帯が県外から本市に転入
- うち、39世帯が大阪からの転入
- 今後もPRを強化し、転入を促進

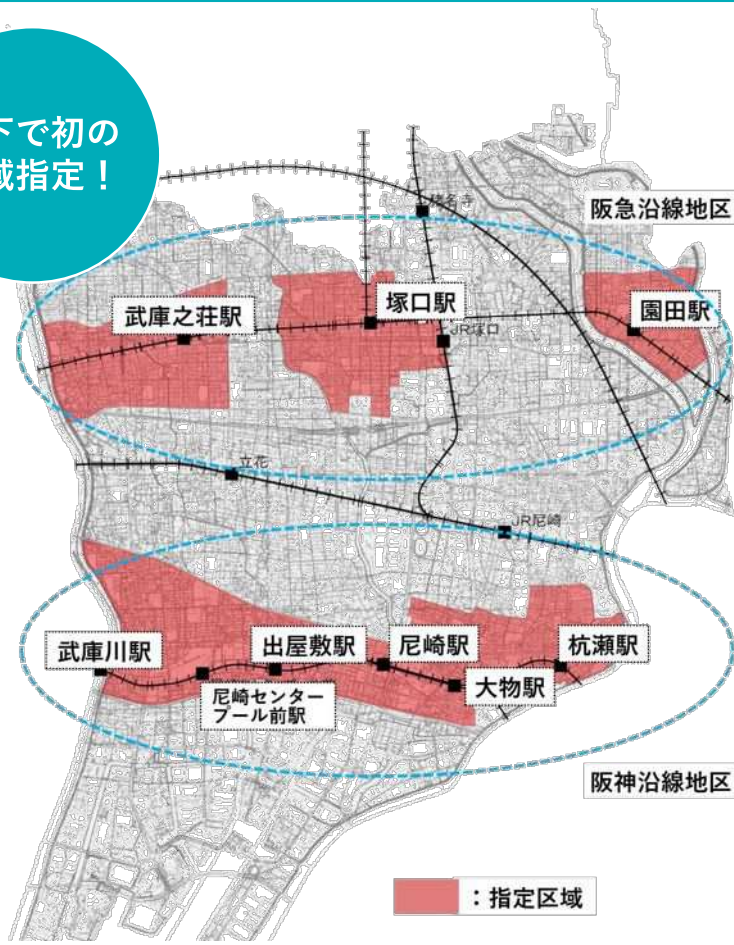


まだまだ募集中！

戸建て住宅の取得支援、子育て支援施設の開設支援

令和6年7月、兵庫県下で初の「子育て住宅促進区域」に指定！ 8月から申請受付スタート！
引き続き、兵庫県と連携して指定区域内への支援の充実を検討していきます。

県下で初の
区域指定！



子育て住宅促進区域の考え方

駅の徒歩圏を中心に「働く」も「子育て」もしやすいエリアを指定区域とし、試行的にゆとりある住まいの誘導を図ることで、良質な住宅の供給をはじめとする良好な住環境の形成に向けた実証実験を行う。

区域内事業①

戸建て住宅の取得支援

- 新築住宅 200万円／件 50件
- 中古住宅 60万円／件 20件
- 敷地・延床面積ともに100㎡以上
- 長期優良住宅 など

区域内事業②

子育て支援施設の開設支援

- 初年度300万円／件 4件
- 2～3年目は100万円／件
- 空き区画を活用
- 児童ホーム、学習塾など

取得支援で79件、開設支援で13件のお問い合わせを頂いており、
取得支援を活用した戸建て住宅の建設も始まっています！

施策② 住宅供給を誘導

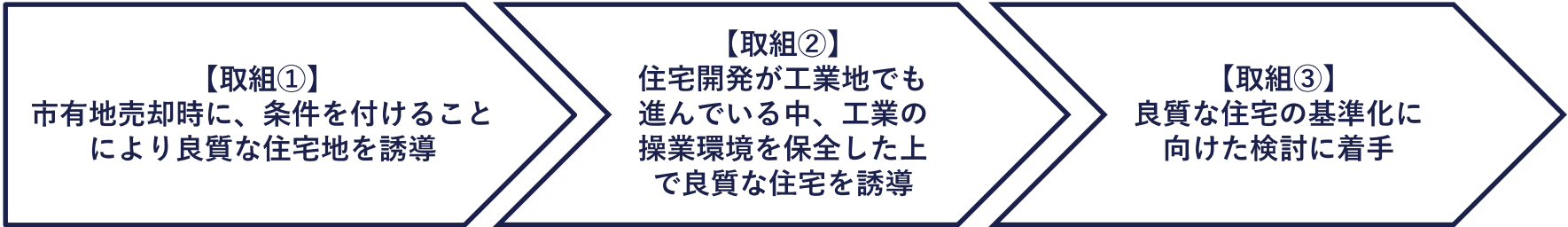
子育て世帯の定住・転入に向けた良質な住宅供給の誘導

子育て世帯に選ばれる良質な住宅・住宅地の誘導に向けて、
一定規模以上の土地利用が生じる際の誘導の仕組み作りを進めています。

誘導にあたっての観点	誘導基準	緩和等	制度
	● 敷地面積 ● 延べ床面積 ● 住宅性能など	● 容積率の緩和 ● 駐車場附置義務 ● 公共施設等整備など	● 土地利用が決まる前の早い段階で協議する仕組み

住宅供給を誘導し、
子育て世帯に選んでもらえ、
住み続けられる住まい・まち
の実現へ

住環境アドバイザリーボードや審議会等を踏まえて、
既存制度で可能なものは実践しつつ、新たな取り組みを進めています。



施策③ 市営住宅の効果的な活用

市営住宅を活用した子育て世帯の入居支援

市営住宅を活用して子育て世帯を支援する取組を進めています。
高齢化が進んでいる市営住宅に若い世帯の入居を促進します！

市営住宅の対象でない、子育てに奮闘している世帯を応援！

取組① リノベーション事業

駅前の利便性の高い住戸（2室）を
子育て世帯向けにリノベーションし、11月から募集開始！

市外居住者や収入要件を超えている子育て世帯向けに

11月から募集開始

県下で初の取組！



（上坂部住宅における施工写真）

主な改修内容

- ✓ 床の防音（フローリング調）
- ✓ 窓のチャイルドロック
- ✓ 間取り変更（3DK→2LDK）
- ✓ 浴室乾燥機
- ✓ システムキッチン

住宅に困っている子育て世帯への支援も強化！

取組② 子育て世帯専用の入居枠

子育て世帯専用の入居枠を8月公募から新設！

市営住宅の公募による応募枠の中で、子育て世帯だけが入居申込できる優先枠を新設し、子育て世帯の入居を支援。
8月公募から実施し、公募した7戸全てで子育て世帯が入居予定。

「常時募集」でも子育て世帯を支援

「すぐに住居が必要」といった子育て世帯も、
常時募集で市営住宅に入居できるよう支援。

施策④ 公有地の活用

本市の住宅地イメージをリードするような質の高い住宅地の誘導

子育て世帯に選ばれる質の高い住宅地の誘導に向け、富松住宅の跡地活用事業者の募集をスタート！



所在地 富松町3丁目192番2,4及び5
面積等 10,285.53㎡
共同住宅5棟（150戸）など

まちづくり方針

子育てや子どもの
健やかな成長を支援する
まちづくり

本市の住宅地イメージを
リードする高付加価値な
まちづくり

地域の資産価値を高め周辺
への波及効果をもたらす
まちづくり

子育て世帯が安心して
住み続けられる
まちづくり

子育て世帯に選ばれる質の高い住宅地の誘導に チャレンジ

【子ども・子育てへの配慮・支援】

- ・住宅の計画において、子ども・子育てにやさしいまちづくり・住まいづくりの実現に向けた配慮がなされていること。
- ・子育てに関する講座や相談など、子育てを支援する機能・施設を導入し、かつ、持続可能な運営・管理する仕組みが工夫されていること。

【ゆとりある住環境と良好な居住水準の形成・維持】

《一戸建ての住宅を計画する場合》

- ・敷地面積：130㎡以上
- ・階数：2階建て以下
- ・床面積：100㎡以上
- ・長期優良住宅の認定取得

《共同住宅を計画する場合》

- ・一戸あたりの床面積：55㎡以上（分譲住宅とする場合は、子育て世帯が住み続けられる床面積）

【住宅地の魅力を高める景観】

- ・建築物の素材やデザインが工夫された計画、敷地への緑化 など

公有地活用事例（市営西昆陽住宅）



10月から跡地活用事業者
の募集をスタート！

施策⑤ 空き家の活用

早めの空き家対策の強化

対処から予防、先手の空き家対策を展開、
住まいの終活など居住中からの取組を費用と手続きの両面から支援しています。

取組① 空き家のワンストップ相談窓口

令和6年9月、市役所北館5階に窓口を開設！
相続や市場流通といった多様な悩みを空き家対策のプロ集団に気軽に相談できる体制を整えました

取組② 相続登記の促進

4月から相続手続きの費用助成をスタート、予定の10件を超えた17件の実績。手続きの費用助成を通じて相続登記を促進していきます

取組③ 建物状況調査の全額助成

4月から受付をスタートし、3件に助成！
引き続き、建物状況調査（インスペクション）のPRを行い、中古住宅の流通を促進します

取組④ 戸建住宅の賃貸化支援

子育て住宅促進区域内における兵庫県との連携事業。7月の区域指定後、8月から申請受付をスタートしています

空き家
対策を強化

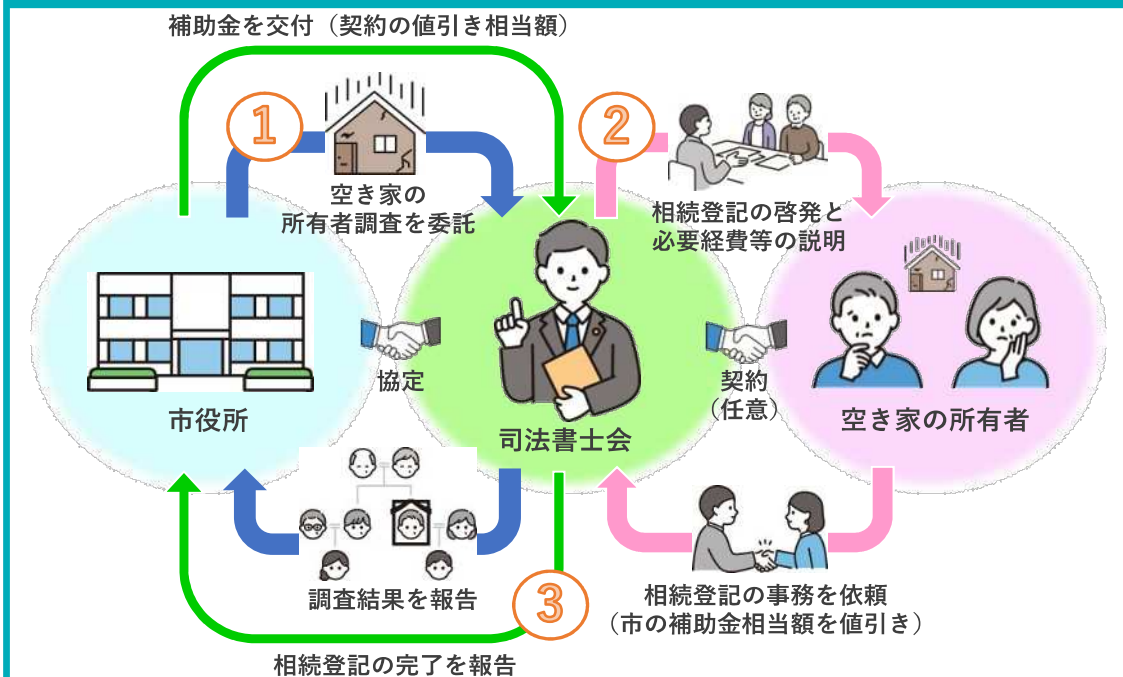
次年度に向けて、更なる事業を検討しています

次年度に向けた検討（空き家対策の強化）

空き家になる前の取組促進から、除却後の跡地の有効活用まで、更なる支援策を検討しています。

空き家の“入口”対策の強化

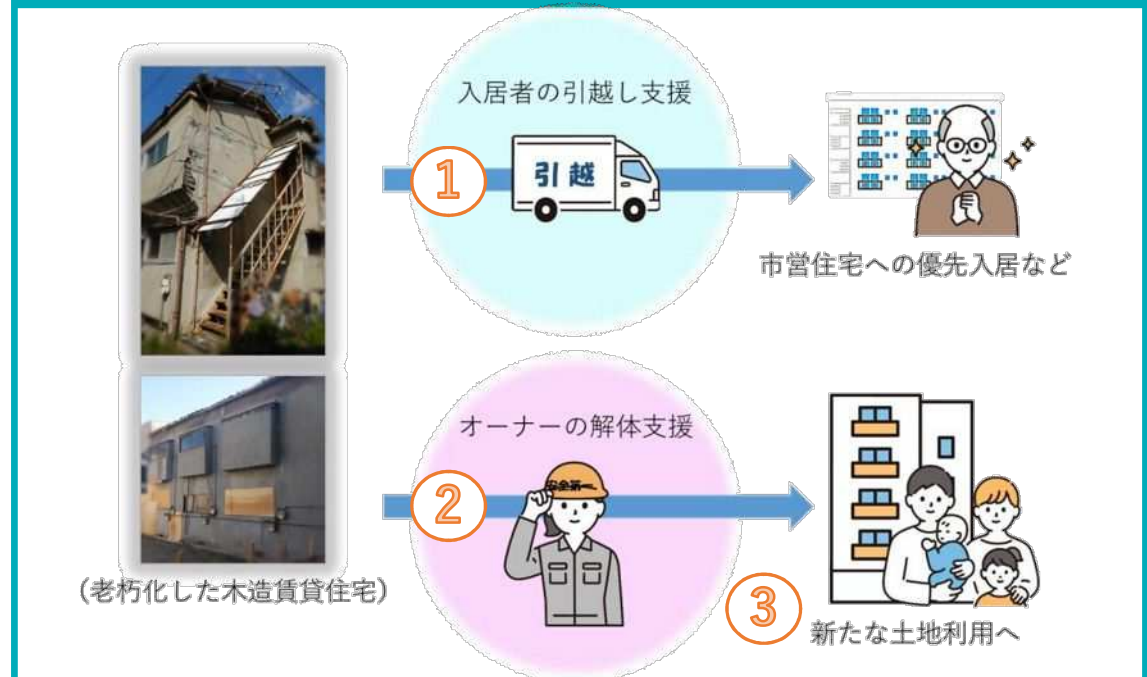
～専門家の力で速やかな相続登記へ～



- ① 専門家が相続登記未了の空き家（市が指定する）の所有者を調査
- ② 相続登記を行うよう啓発と情報提供を実施
- ③ 市の補助制度により、相続登記に要する費用を低減
→ 速やかな相続登記を促進し、空き家を住宅市場へ

木造賃貸住宅の“出口”対策の強化

～老朽化した木造賃貸住宅の除却から新たな土地利用へ～



- ① 対象の木造賃貸住宅に入居者が居る場合、その引っ越し費用を支援
- ② 対象の木造賃貸住宅の解体費用の一部を支援
- ③ 跡地の利用方法に関して一定の条件を付す（検討中）
→ 新たな土地利用を促進し、良好な住環境の形成へ

さらに！

面的な空き家の更新・土地利用の刷新を行う不動産事業者等への支援の強化

※複数の空き家をまとめて解体する場合、事業者にも利用いただける除却補助制度へ、重点的に予算を配分

fin

住宅施策パッケージ 11月取組状況



あまがさき共創DXプラン

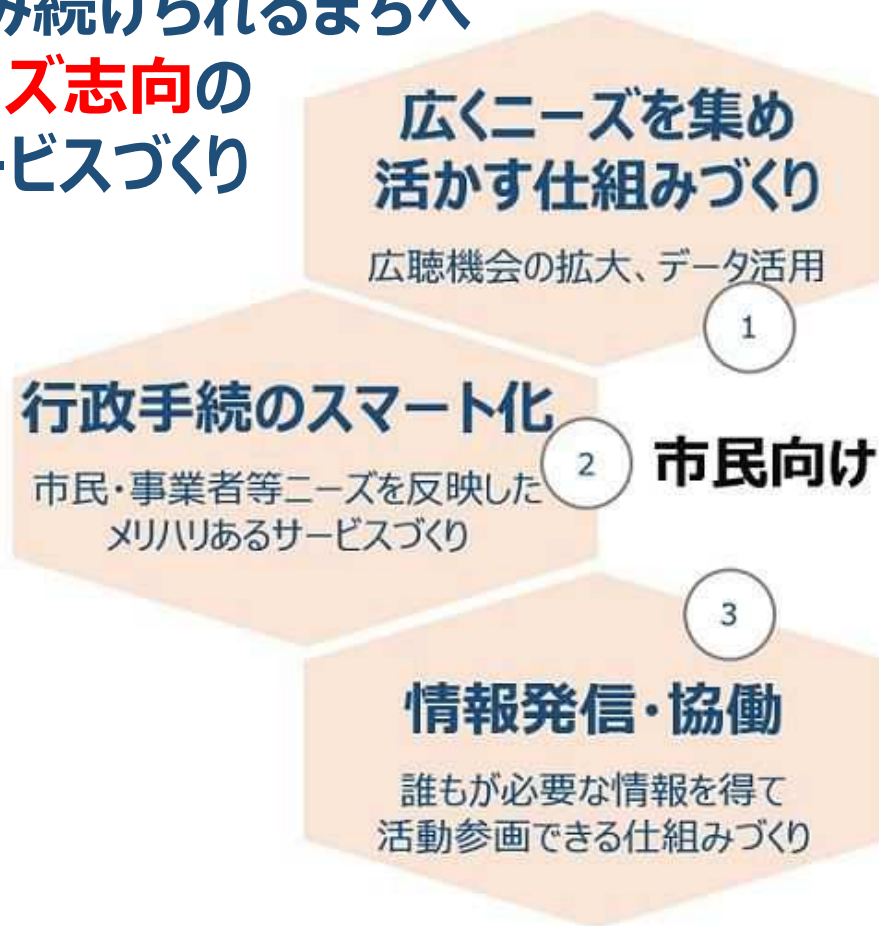
- ・これまでの取組内容と進捗状況（令和6年11月時点）
- ・令和7年度以降の取組（予定）

「あまがさき共創DXプラン」の概要

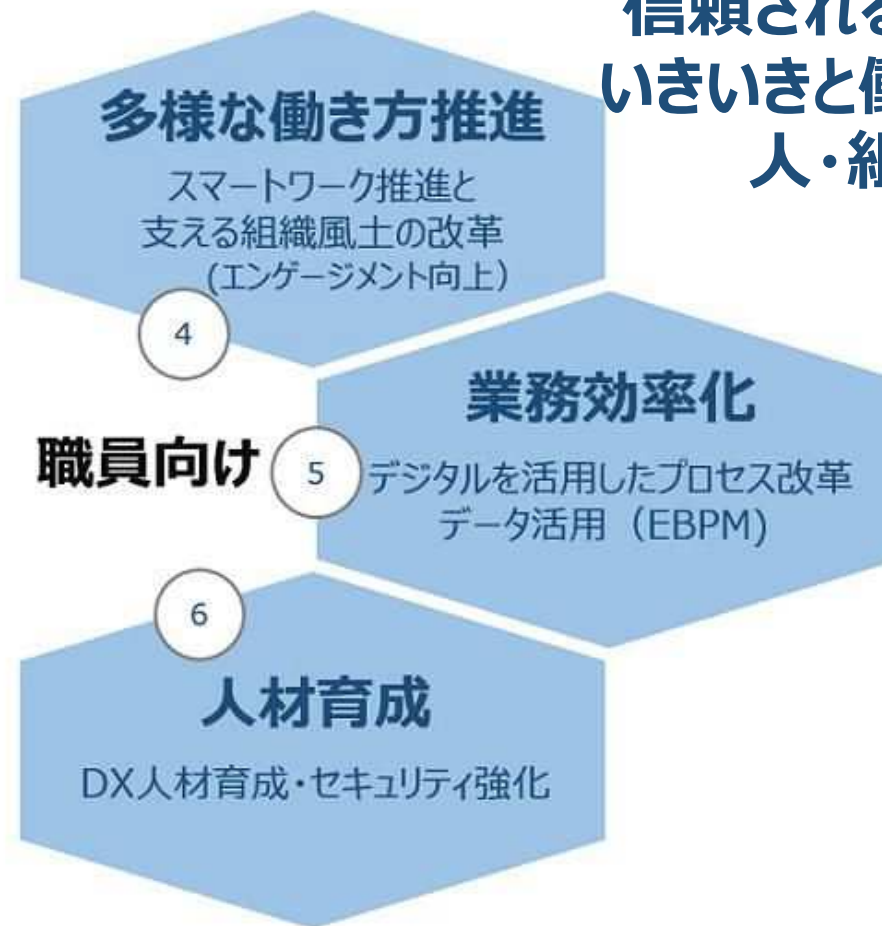
あまがさき共創DXプランは、キーワードを「**共創**」とし、本市の強みである共創文化を生かした、市民、職員のニーズに寄り添ったDXの推進を特徴としています。強みを更に伸ばすために、これまで以上に意見を収集して、政策に活かす仕組みや、必要な方にしっかり情報を届け、参画いただく仕組みなど**デジタルを活用して効率的・効果的に共創**をすすめていくこととし、2023年12月に同プランを策定しました。

安心して住み続けられるまちへ

**ニーズ志向の
サービスづくり**



信頼されるパートナーへ
いきいきと働き**成長**できる
人・組織づくり



主な取組

(2023年12月～2024年10月末時点)

広くニーズを集め活かす仕組み

あまがさき
共創DX

あまがさきWebアンケート／コールセンターダッシュボード

市政アンケートのデジタル化・一元化や、コールセンターデータの見える化を実施。多様化する市民のニーズを広く、タイムリーにつかみ、市政に反映します。

あまがさきWebアンケート



毎月1-10日は
アンケートの日！

平均回答者数
98人／回
(過去3年間平均)

大幅UP

2,457人／回

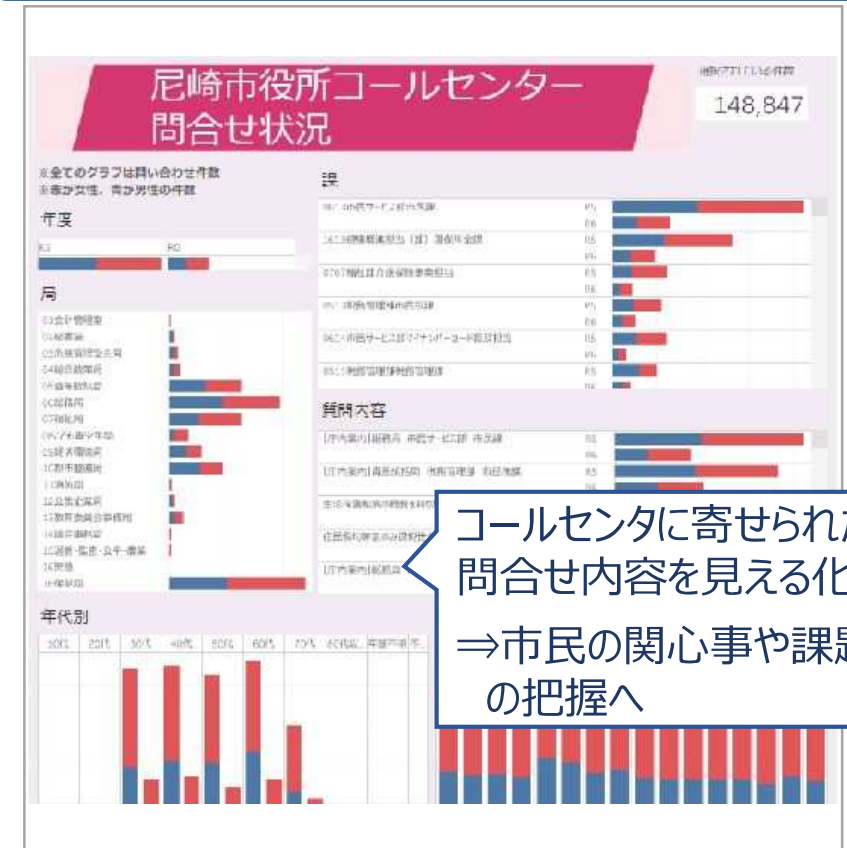
(R6.10月末時点実績)

■デジタル化のメリット

市民：いつでも、どこでも手軽に回答が可能

職員：郵送、データ投入、集計等の作業が大幅効率化。**あま咲きコイン連動**で回答も大幅増！

コールセンターダッシュボード



コールセンタに寄せられた
問合せ内容が見える化
⇒市民の関心事や課題
の把握へ

行政手続のスマート化

あまがさき
共創DX

市民の皆さまに^{いい!} e^{いい!}手続サービスへ

市民ニーズや生活スタイルの多様化に合わせて、行政手続も多様な選択肢が必要。オンライン申請の拡充や、窓口案内、チャットボットの設置などを実施。

行かなくても
いい！

オンライン申請

- 国の優先手続
- 本市において申請数の多い手続

全申請の
90%をカバー

- 子ども手続のうち、年間400件以上のもの

子ども手続の
95%をカバー

待たなくて
いい！

窓口予約・待ち時間案内



オンライン申請サイト
より窓口予約も可能



Web配信サービス

迷わなくて
いい！

窓口案内・公式HPチャットボット



リモート案内機能付き
(多言語対応)



24時間対応

データを活用した効果的な情報発信

「あま咲きコイン」などの市民アプリが持つデータ（※注）を活用して、情報を届けたいターゲットに向けたプッシュ型通知など、効果的な情報発信に向けて取組み中。

■ あま咲きコイン発信の効果例（「WEBアンケート」に関する情報発信）

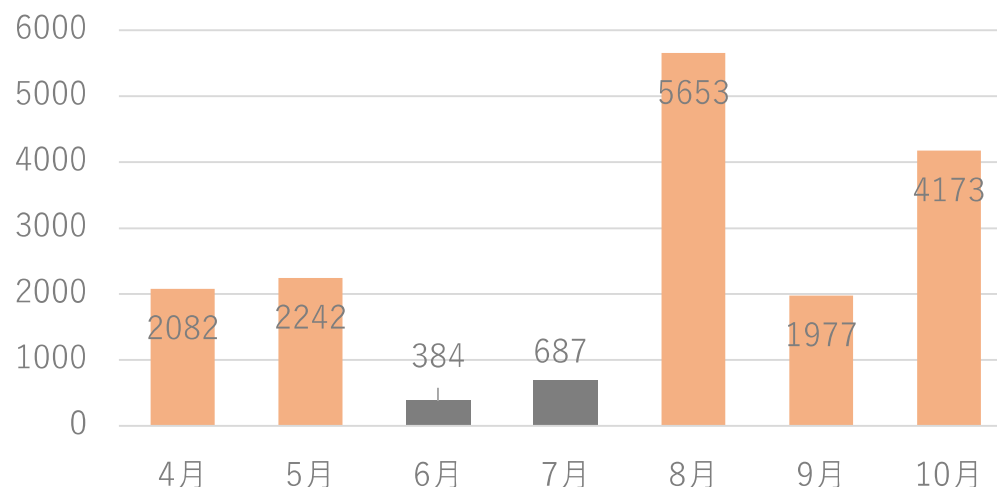


会員数：12万人
（うちアプリ7.1万）

※注）データ利用許諾を得た市民に対し居住エリアや年齢、性別等、属性に応じた情報発信が可能

高い情報誘引力

■ 月別回答者(2024年)



■ コイン連動無し： 535名/回

■ コイン連動あり： 3,225名/回

6倍の情報誘引力

リアルタイムでの対策も可能に

■ 属性別回答状況（年代別例）



リアルタイムに属性別（性別・年代別・職業別等）の反応状況が把握可能

⇒回答増に向けた打ち手が可能に

多様な働き方推進（組織風土改革）



職員エンゲージメント指数 “ばいitari値い (ちい)”

DX推進には職員の**改革志向**や**熱量**が不可欠。職員の仕事に対する前向き度や組織風土の状態を、データを活用して見える化を行い、**職員のニーズ起点**で改善を講じることでパフォーマンスの向上をめざします。

令和5年度末 「ばいitari値い」レポート配付 (組織単位)

- 各組織の課題やニーズを把握し、改善ポイントを検討



※ストレスチェックデータより分析

令和6年度<現在>

一律でなく、多様な職場ニーズに応じた取組



「ばいitari値い上げて委員会」による職員採用ポスター



フリーアドレス

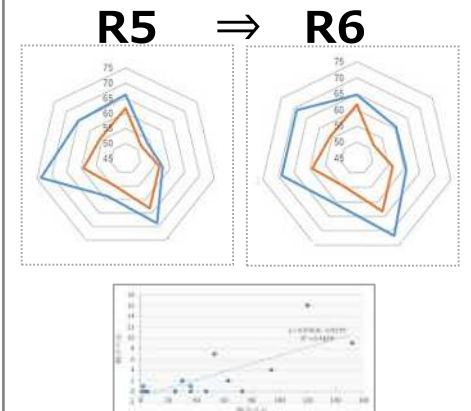


有志DIYによる憩いの場づくり



毎年度末 レポート配付

- 前年からのスコア変化を確認し、改善のPDCAを回す



ツールを活用した業務効率化（Kintone）



職員の内製による業務アプリの作成

簡易なシステムの構築ができる「Kintone」の職員育成を積極的に展開し（延べ**430名**）、多数のシステムを職員が内製。（例: 保育所内定結果通知、職員健康診断の予約管理、Webアンケート等）

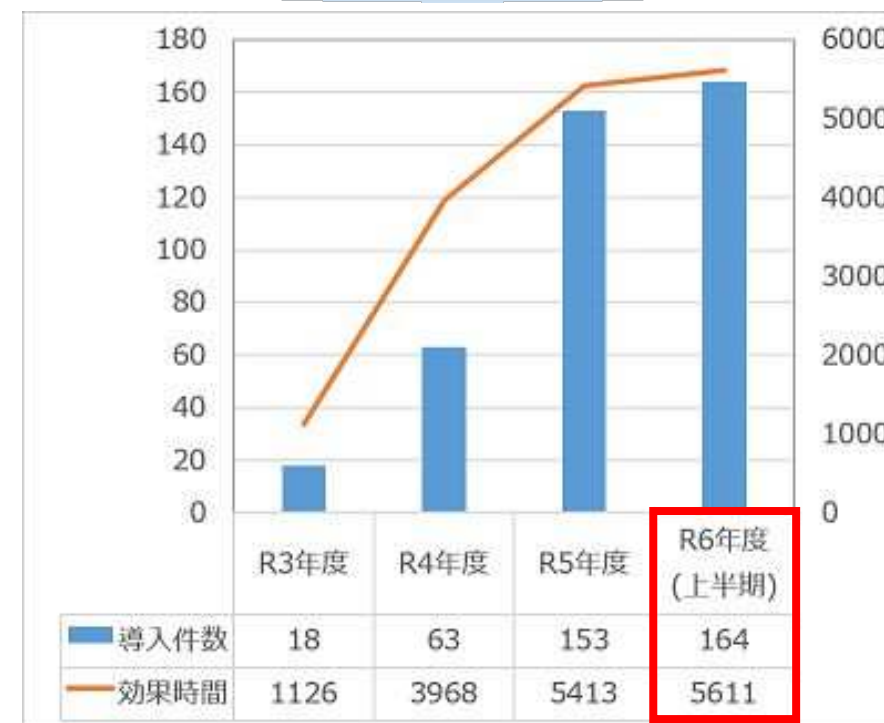
■ 取組事例

【公用車運転日報】



■ 導入件数と効果時間の推移

R6年度は上半期で、前年を上回る取組実績！



DX推進員の設置とDXゼミの実施

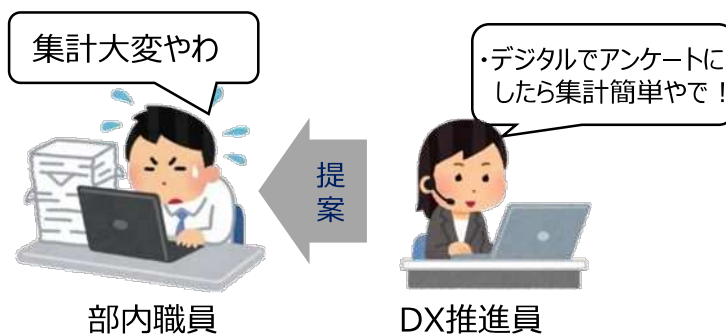
現場のDXを牽引する「DX推進員」を設置（令和5年度：**84名**）。デジタルに関する**知識・スキル**と、課題に**主体的に取り組む力**の両方を養い、“**熱量**”をもって、現場のDXを推進します。

DX推進員

●役割

部内におけるDX推進に係る

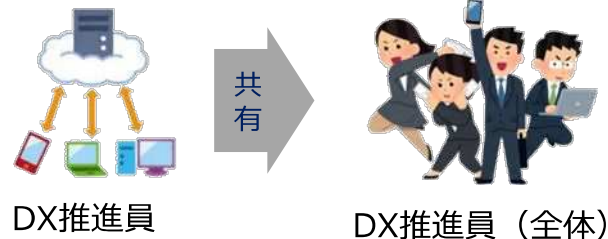
- ・技術的支援
- ・好事例共有、具体的な取組提案など



●DXゼミ（月1回開催）

- ・各種デジタルツール操作実践
- ・業務プロセス改革スキル
- ・データ活用 等

取組状況や課題もデジタルでタイムリーに共有



その他の取組

- 職員採用に**デジタル区分を新設**（令和6年度採用試験より）

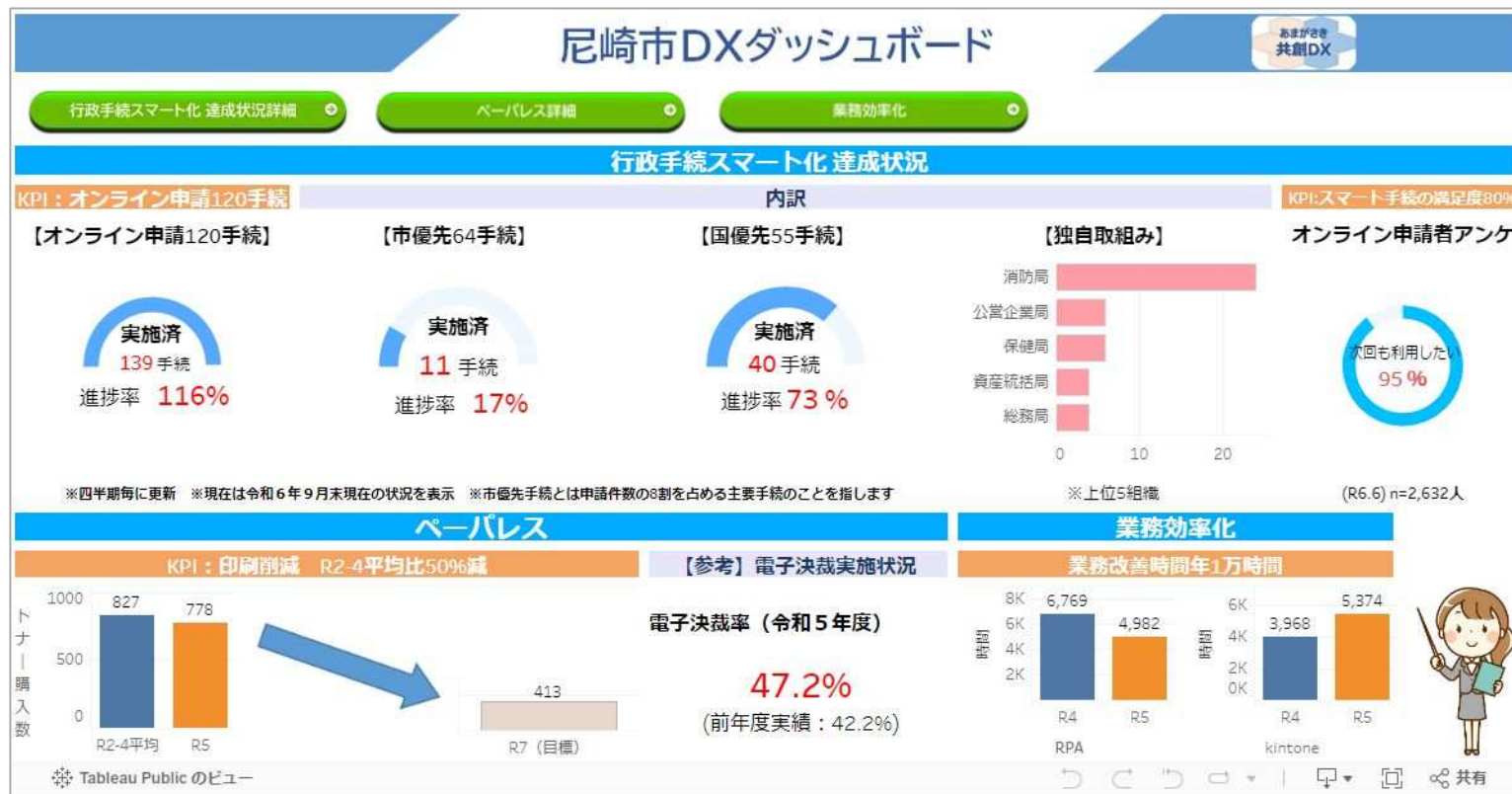
- スペシャリストとして、**ICT専門員**（特定任期付職員）の採用

ダッシュボードによる進捗管理

あまがさき
共創DX

「あまがさき共創DXプラン」に定めるKPIの進捗状況は庁内HP上にて、ダッシュボード化することにより、タイムリーな進捗共有と課題把握によるPDCAを展開中。

全体進捗



局別進捗

■ペーパーレス



■オンライン手続



取組指標の進捗状況（詳細）

進捗①(市民向け取組)



安心して住み続けられるまちへ。ニーズ志向のサービスづくり

項目	取組内容(着手済みのもの)	取組指標 (KPI)		今後の推進課題等
		2025年度末目標	2024.10実績	
1 市民ニーズをつかみ活かす仕組みづくり	・市政アンケートの一元化 (R6.4～) 全市民対象： 17,198人 (7件) 個別対象向け： 7,923件 (2件) ・各種広聴データの分析、活用 ⇒ コールセンターデータのダッシュボード化	・市政アンケート参加数 2万人/年 ・事業者提案 新規10件/年	25,121人 (126%) 18件 (180%)	・ニーズデータ等の庁内共有の基盤作り ・データ活用スキルの育成 (政策活用を視野に入れたアンケート設計、データ分析活用等)
2 行政手続のスマート化	・手続のオンライン化 全手続の8割をカバーする 国重点55項目、本市優先64項目 ・子ども、子育て関連手続の 9 割をカバーする22手続	・オンライン申請項目数 120件 ・スマート手続の満足度 80%	139件 (116%) 95%	・学校調書や事業者向け手続のオンライン化拡大 ・「書かない窓口」など、スマート化範囲の拡大
3 情報発信協働	・あま咲きコインを活用したターゲット発信 ・コールセンターデータを活用した市民向けチャットボット導入(市民問合せの24H対応) ・デジタルデバйд解消に向けたオンライン窓口実証	・SDGsポイント4.6万/年 ・総合CC一次回答率 100% ・スマホ教室等参加 1,000名	4,2万Pt (91%) 98% 569名 (56.9%)	・広報戦略と連携した広報DXの検討 (情報発信一元化や双方向化)

進捗②(職員向け取組)



信頼されるパートナーへいきいきと働き成長できる人・組織づくり

項目	取組内容(着手済みのもの)	取組指標 (KPI) 2025年度末目標 2024.10実績		今後の推進課題等
4 多様な働き方推進	・スマートワーク（時間、場所によらない多様な働き方）の推進 ・“ばいitari値い”（エンゲージメントデータ）による組織状態の見える化、改善推進	・在宅勤務利用者数 1,600人 ・超過勤務縮減 年間一人当たり 20%縮減 145 H (R4実績) ➡ 120 H	1,462人 (91.3%) ▲3% (141時間)	・実践状況の見える化、効果分析等による、持続可能な推進手法の確立
5 業務効率化	・業務プロセス改革 Kintone、RPA活用による業務効率化 チャットGPT（生成AI）実証 業務DX検討（会計、いくしあ、こども） ・ペーパーレス：ルール策定、全庁推進 ・EBPM	・業務改善時間 1万時間 ・印刷削減 ▲50% (R2～4年度平均比)	達成 104% (10,395時間) ▲6%	・会計DX等、抜本的プロセス改革に向けたルール、システム見直し ・業務効率化の加速に向けた、AI等の破壊的技術の活用拡大
6 人材育成	・DX人材育成 DX推進員84名向け研修（毎月） 階層向け職員研修 ・セキュリティ強化 階層別研修 外部、内部監査の実施と課題改善	・DX専門人材育成15人 ・職場推進者育成 20% ・セキュリティ監査指摘対応 100%	— 達成 44% 達成 100%	・職員のキャリアデザイン設計等と連動した組織的な育成体系づくり

令和 7 年度以降の主な取組

令和7年度以降の主な取組



本プランでは、DXの第一ステップとして、令和5年12月～令和7年度末を計画期間としているが、取組指標の達成状況や、市民からのDX化ニーズ、市としての重点政策分野等を踏まえて、計画は随時、見直していくこととする。

		R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 めざすところ
あまがさき共創DXプラン 計画期間		第1期：R5.12～R7年度末			第2期：期間検討中	
① 市民サービス	■ 行政手続スマート化 (フロントヤード改革)	オンライン申請拡充・デジタル窓口案内 等 (行かない・迷わない窓口)		書かない窓口、マイナンバー活用拡大 等		■ 市民ニーズ、生活スタイルの 多様化に対応した、多様な 窓口接点の提供
		子ども・子育てDX		重点政策等と連動した市民向けDXの拡充		
	■ 市民ニーズ把握・活用 ■ 情報発信・協働	ニーズデータ等収集の仕組み		データ共有・活用の仕組み検討 (EBPM)		■ 市民ニーズ起点のソーシャル マーケティングの実現 (ニーズに合ったサービスを提供・発 信する仕組み)
		既存市民アプリの活用拡大				
② 庁内業務	■ 業務効率化	ペーパーレス・業務プロセス課題分析		業務システム見直し		■ 市民から信頼されるパート ナーとして、いきいきと効率的に 働き、成長できる人・組織づくり
		ツール活用 (Kintone、生成AI等)		生成AI等技術の活用拡大		
	■ 人材育成 ■ 多様な働き方	DX人材 (推進員、専門人材) 育成		DX人材拡大・レベル向上		
【参考】 庁内ネットワーク基盤見直し		ネットワーク抜本見直し検討			システム構築	